

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	入学前の中学校との情報交換	生活習慣アンケート
		学級づくり	個別面談
		ネット講習会	
5月	保護者向け啓発	保護者・職員研修会	
			いじめアンケート①
6月			授業公開
		地域行事参加	
7月	事案発生時	情報モラル授業	
			三者懇談
8月		地域行事参加	
		カウンセリング研修	
9月	いじめ対応チーム会議		
		体育大会	
10月			いじめアンケート②
			個別面談
11月	職員会議	地域行事参加	授業公開
		文化祭	
		人権学習	
12月			生活実態調査
			三者面談
1月			いじめアンケート③
			個別面談
2月		地域清掃活動	
3月	いじめ対応チーム 本年度のまとめ		

いじめ防止対策の達成目標

- いじめをより早期に発見し、組織的に対応し解消していく。
- 教職員や生徒が一体となって、いじめが起こりにくい集団作りに努める。

職員会議等

- いじめ対応チームは、キャンパスカウンセラーを交え必要に応じて生徒の情報交換、要配慮生徒の観察などについて会議をする。

未然防止に向けた取り組み

- 入学前に中学校との情報交換を行うなど、中高の連携により、情報共有の伝達を図る。
- いじめを許さない学校づくりを進める。
- 年間を通じて、生徒会主体のあいさつ運動を実施する。
- 定期的にバス停等の登校路の交通指導を実施する。
- 定期的に昼休みの巡回指導を実施する。
- 地域のイベント行事にボランティアスタッフとして参加し、社会性の育成を図る。
- 地域の人材を特別非常勤講師として招聘し、体験活動を取り入れた総合的な探究の時間に取り組む。
- ネット犯罪防止講演などを実施し、インターネット上のトラブルを防止していく。
- 情報モラル授業を行い、SNSを使った適切なコミュニケーションの取り方を身に付ける。

早期発見に向けた取り組み

- いじめアンケートは年3回実施。
- 個別面談だけではなく、小規模校の利点を生かし、生徒の日常の小さな変化に対応する。